



九州西濃運輸株式会社



農林中央金庫

2025 年 9 月 22 日
九州西濃運輸株式会社
農 林 中 央 金 庫

九州西濃運輸株式会社と農林中央金庫長崎支店の連携協定について ～農林水産業・環境・地域課題解決に向けて～

九州西濃運輸株式会社（代表取締役社長:中田 晃、以下「九州西濃運輸」）と、農林中央金庫長崎支店（支店長：坂部 了一、以下「農林中金長崎支店」）は 2025 年 9 月 19 日に、農林水産業・環境・地域課題解決を目的とした連携協定を締結しましたのでお知らせいたします。

1 背景・概要

2025 年 2 月より九州西濃運輸は農林中金長崎支店と連携して、JA 島原雲仙管内で発生した廃棄人参・廃棄ブロッコリーを県内動物園へ運搬する取組みを進めてきました。（2025 年 3 月 19 日付プレスリリース「九州西濃運輸株式会社と連携した廃棄野菜の有効活用について」は本リリース下部の URL より参照）

本取組みにより、これまで費用を掛けて廃棄していた規格外の野菜が有効利用されて価値が生まれることで、生産者所得の向上や食品ロスの削減といった環境や地域社会の課題解決に繋がっています。

このたび、廃棄野菜の有効活用をさらに促進するとともに、県内 JA・JF や農林水産業従事者等、地域が抱えている物流面での課題解決に取り組むことで、農林水産業・環境・地域社会の持続的発展に寄与することを目的に、九州西濃運輸と農林中金長崎支店は連携協定を締結する運びとなりました。なお農林水産業の課題解決等を目的とする連携協定の締結は両者ともに今回が初めてとなり、本協定を契機に相互で更なる連携を図ってまいります。

2 九州西濃運輸と農林中金長崎支店の連携内容

九州西濃運輸と農林中金長崎支店は「廃棄野菜の有効活用」、「流通」、「地域活性化」の 3 点を切り口に、農林水産業・環境・地域課題の解決に向けて連携致します。

（１）「廃棄野菜の有効活用」

廃棄野菜を動物園へ輸送する等の廃棄野菜有効活用に向けた取組みについて、九州全域へ拡大することを目指します。

（２）「流通」

九州西濃運輸が有する物流網や輸送サービスの活用により、県内 JA・JF や農林水産業従事者等が抱える物流費抑制や低温流通網の拡充などの流通課題解決を目指していきます。

（３）「地域活性化」

廃棄野菜の有効活用や農林水産物の流通課題の解決を通じて、カーボンニュートラルの実現とともに、持続可能な地域社会を目指します。

農林水産業の課題解決に向けた連携協定【イメージ】



なお、廃棄野菜有効活用の取組み第2弾として、長崎県雲仙市で白ネギ栽培を営む「株式会社栗原ねぎ」、福岡県北九州市にある「到津の森公園」と新たに連携しており、廃棄野菜（白ネギの出荷調整時に発生した残渣）の輸送を2025年9月より開始しております。廃棄野菜の有効活用に向けた取組み拡大により、更なる環境・地域社会の課題の解決が期待できます。



写真かって左より
農林中央金庫長崎支店 副支店長 松本 進
農林中央金庫長崎支店 支店長 坂部 了一
九州西濃運輸 代表取締役社長 中田 晃
九州西濃運輸 執行役員 経営統括本部担当 川野謙二
(写真のダウンロード) : <http://www.seino.co.jp/seino/press/20250922-01.jpg>

3 会社紹介

(1) 九州西濃運輸

当社はセイノーホールディングス株式会社のグループ会社であり、九州全域に強固な輸送ネットワークを展開する総合物流企業です。物流ノウハウを活用した最適な物流設計を通じて、お客様のサプライチェーン全体の効率化を実現し、お客様の繁栄に貢献しています。今回の取組みに参画し、輸送部分を担うことで、社会や地域が抱える課題の解決に

貢献してまいります。

（２）農林中央金庫

当金庫では、パーパス（私たちの存在意義）を「持てるすべてを「いのち」に向けて。～ステークホルダーのみなさまとともに、農林水産業をはぐくみ、豊かな食とくらしの未来をつくり、持続可能な地球環境に貢献していきます～」と定めています。農林水産業の協同組合を基盤とする金融機関として、農林水産業の発展や地域社会への貢献に向けて取組みを進めてまいります。

■ 関連プレスリリース

- ✓ 九州西濃運輸株式会社と連携した廃棄野菜の有効活用について

（持続可能な地域農業支援・生産者所得向上の取組み）

（2025 年 3 月 19 日）

https://www.nochubank.or.jp/news/branch_news_release/2025/post-213.html

【本件に関するお問い合わせ先】

農林中央金庫 長崎支店 営業第一班（北村・弓弦・中村） 095-827-3114